

NO 6
 S62. 11月28日
 一発行一
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 TEL096
 293-8100

四つの柱

理事長・田中稔

開所いたしましたして、半年が過ぎました。開所時に地肌が丸出しで、藪や雑草の目立った敷地も皆さんのお力添えのお陰で徐々に整備されてきました。芝や花、木が育ち緑で被われ、農耕用の畑や果樹用の休遊地も整えられつつあります。先日も地元、大津町の方からツツジ五百本の寄贈をいただき保護者の方々と植え込みました。将来ツツジの里として、花が咲き乱れる日を楽しみにしております。生活の場としての三気の里を花と緑におおわれたゆつたりとした空間に育てたいと思っております。

為には四つの柱が育つ事が大切だと考えます。

「施設を設置、運営している法人」「法人のかかげる趣旨、目的方針を具体的に実行していく施設職員」「共に療育に参加しておられる保護者の方々」「社会のつながりを広げていただくボランティアの方々」。この四つの柱が共に「三気の里」を支えてくださる事が子供達が生き生きと生きていくてくれる為の大切な柱と考えております。他の施設の保護者の方から当方の保護者の方へ「三気の里は、土・日の帰宅訓練はあるし、洗濯等のお手伝いがあるそうで大変ですね」というお話をされたとのこと。私達は保護者の方々と共に子供達を生き生きと育てる大事なパートナーと考えております。職員も自分の現状が分かるに従っ

て「やるべき多くの事」「読むべき多くの本」等に気付き始めております。

共に苦、楽を共にしながら、育ち合いたいと思っております。

のんき

▼待望のバスがやってきました。バンザイ!! 今度からはどこでも行けるぞ。さあどこへ行くぞ。作業!! レク!! 楽しみだあ!!

バスの名前は「のんき号」三気号(ワゴン)と共によろしくお願ひします。▼東京帰りの坂井さん!! あかぬけたかなと思いきや、風邪をつけてそしてあかも増やし帰ってきました。都会の空気は肌に合わんのじゃ!! 田舎者!! ▼この頃、農耕班の人達の顔はゆるみっぱなし!! ついでに坂本さんの大根足も売ってしまおうとかちがうちがう、あれは誰も買わん!! 野菜の大根が売れに売れにまくってるんです。

(H)

療育シリーズ

NO. 6

兄弟姉妹

園長・土井尚典

指導員から次の様な報告がありました。あるお母さんから「この頃、下の子の様子がおかしい」という事でした。その内容は「日曜日になると怒りっぽくなって、騒ぐ事が多い」という事でした。指導員の意見は、「毎週末帰宅することによって、下のお子さんがお母さんを盗られてしまっていると感じているのではないか」という事であった。そこで、早速、検討しました。下のお子さんの年令、性別によりどんな事を考えているのだろうか。上の子(園生)はどのように映っているのだろうか。下の子から見た場合、(園生)はガマンの対象になっているのか、日曜日は下の子にとってどんな日なのか。園生が三気の里に居る間、どんな想いで生活しているか。帰宅して来た日はどんな想いで生活しているのか。全て推定で考える

しかありません。

お母さんと相談するしかありません。指導員はお母さんと相談し、結論を出しました。「週末帰宅を減らす。下の子は決してわがままではない、下の子が成長し園生を理解出来るまで待つ。園生も週末帰宅をガマンするので下の子もガンバル。お母さんは兄弟全部のお母さんである」結果は週末帰宅を減らすことなく、今のところうまくいっています。

今回はたまたま下の子のケースでしたが、今日まで園生が育つてくる過程の中で兄や姉も同じように小さい時代を通して来ている事と思います。下に障害をもつ弟や妹が居る事は口に言えないガマン、嫌な想い、恥ずかしさ等々を沢山通って来ている事と思います。兄弟姉妹の努力の中でここまで園生が育つて来ている事と思います。本当に感謝であります。

在園生三十三名の兄弟姉妹の実態を調べました。弟や妹が居る家庭が半分あります。兄弟姉妹が居る家庭は88%です。親は兄弟姉妹

との関係で「どうすれば良いか」に統一した方法は思いつきません。一人一人の園生の状態と家庭の状況を考えていく事だと思います。更に各家庭には兄弟姉妹を含めて「どんな子に育てたいのか」という考えがある事と思います。今、わかる方法は施設職員と家庭とが充分話し合い、共に歩む事だと思います。決して平均的に考えるのではなく、具体的に個々の園生について考える事だと思います。

治療教育の条件の一つは「特定の人、特定の理論で園生を処遇するのではなく、その子にかかわる全ての人の智慧と全ての科学を統合することである」と考えます。

独り子	2人	3人	4人
4	18	8	3
兄が居る園生	姉が居る園生	弟が居る園生	妹が居る園生
9	9	10	6
兄か姉が居る園生	弟か妹が居る園生	上下に居る園生	
17	15	3	

「路線バスに

乗ったよ」

十一月八日、日曜日、今日は園に残っている皆で、大津養護学校の文化祭を見に行くんだ。ぼくたち三人は、他の皆と別行動で、なくとバスに乗って行くんだよ。ぼくたちは、バスに乗れて大喜び、指導員のお姉さんは、やや不安顔、心配しないで、ぼくたちは、ちゃくとバスに乗れるんだから。

ただちゃんは、運転手さんのすぐ後ろの席に座り、大きな声で「おはようございます」と挨拶したよ。ちよつと運転手さんも元気がよくてビックリしていたみたいだよ。けいちゃんは、バスに乗る前は、はしゃいでいたけれど、乗ったらだまって、やっぱりお兄さんかな、とてもえらいなと思ったよ。ふたみさんは、バスに乗ることでニコニコ、バスに乗ったことをとても自慢気に話していたね。また今度もバスに乗って行くよ！

(武藤)

ただ今

食堂営業中

「バスハイクの朝」

バスハイクの当日、夜明け前から三気の里はいつもと違った。まず、厨房の入り口横は、午前6時に早くも車4台が並んだ。というのは、いつもより三十分早い朝食、そしてお弁当作りのための調理職員四人が早朝から勢揃いしたわけだ。六十六個のお弁当を九時までには作り上げる。私達にとって初めての事だし、未知の世界だった。とにかく朝からみんなはりきっていた。七時二十五分、食事の音楽とともに子供達が食堂に集まって来た。どの顔もうれしそうで、どの子の姿もきまっていた。そして何よりにぎやかだった。いつものご飯に味噌汁と違って、パンに牛乳、ジュースで、不思議そうにしている反面、喜んで食べていた。

お弁当にもお弁当作りは続いた。お弁当のお母さんやボランティアの学生さんに協力して頂き、りっ

ばな？お弁当が出来上がった。十一月三十日、三気の里食堂は、商売繁盛だった。

号外！

いも掘り珍商売

10月29日、三気の里全員で初めての芋掘りをしました。青空の下みんな真黒になりながら、いったい何が出てくるのかな？どんな形の芋が出てくるのかな？という不安と期待を持ちつるを引っぱりました。芋がどんどん掘れて一輪車何台分にもなると今度は、おいしかな？という不安と期待にかわってきました。やっぱり食べてみると解らないってことで、スライズにして鉄板でジュージュー。色が黄色にかわるとみんな「いただきます」味はいうまでもなく皆のおっこちてきそうなほっぺに書いてありました。その農耕研を植え、みんなで掘った芋を一つ袋につめて、うれるかたという三度目の不安と期待で玄關に並べました。そしてお母さん、言「のうこうはんはもうかるわね」

(池上)

3班・マウンテンストーリー

山の作業、朝のホームルームが終わって、軍足をはき、作業靴をはいて、さっそうと車に乗り込む7人組。そう、山男6人プラス“うら”若き乙女の3班の一日の作業の始まりです。現地へ着くと、早速、ナイフを取り出し木の皮むきを始めるしんちゃんは息つく間もなくがんばります。3班で一番の力持ちのけいぞうくんとがんばり屋のようちゃんは、坂井さんが切り倒した木を皮むきの作業場までロープで運びます。のんびり屋のけんちゃんと働き者の敬ちゃんは、こつこつ仕事をがんばります。そして紅一点のあっ子ちゃんに“葉っぱ食べちゃダメヨ!”とのりちゃんと“トイレに行きたいの?”としんちゃんが2人であっ子ちゃんのお世話をはじめます。“いいな……私も”とうらやましそうな小道さんとは反対に、余計なお世話、ほっといて!とあっ子ちゃん。モテルGALはつらいね!静かな山の一幕で、毎日繰り広げられる物語。毎日、同じ作業の繰り返しでも、一日一日、外作業班のメンバーの腕はあがっていったり、時には調子が出なくなって、なーんにもしない日があったりです。さあ!みんなの作業小屋ができるように!厳しい冬が来るまで、7人組は山へとでかけます。
おわり

(大塚)

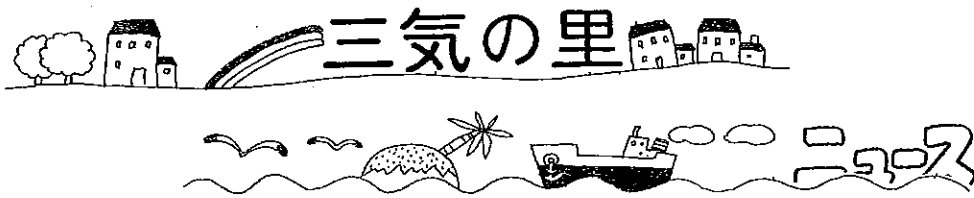
4班・グルメの旅



日頃外仕事で体力を使っている4班が、11月19日、この日はのんびり過ごそうと、熊本天使園で“カレーとマカロニサラダ”を作って食べることとなりました。その様子を覗いてみますと……。佐々木君→身軽さで彼に叶う者はいません。次から次へと良く動いてくれました。荒牧君→一番料理好き、当然頑張ってくれるだろうと思いましたが、手のうちは見せてくれませんでした。村上君→とてもスリムな彼は料理の腕前もさることながら、エプロンの着こなしがピカイチです。渡辺君→探検好きの彼。部屋の探検を必至にこらえ、マカロニを湯掻いてくれました。島津君→いつもドーンと構えている彼。この日は重要なお米研ぎをやってくれました。料理を生かすも殺すもご飯の出来具合によりますからね。光山君→おしゃべりな彼もお口をチャックしてジャガ芋の皮むきやグリーンピースの缶切りをやってくれました。石崎君→何を隠そう彼こそが料理の天才と言われたかっちゃんです。この日のかっちゃんの調理ぶりには職員一同ア然とさせられました。今回はレク当日の松枝君の体調が思わしくなかったので参加できずとても残念でした。出来上がったカレーもとてもおいしくグルメ昼食会は大成功に終わりました。

(木下)





1 班 - ある晴れた日の意外なパワー

秋晴れの続いたあるぼかぼかした一日の出来事です。さあハイキングでも行こうかなどと個人的に思ったりもしましたが、大作業、土方作業と新しい作業に魅力を感じ、子供達共々はりきって作業しました。

大工さんになりきってくれたきくお君は、きよし君は、持ち前の技量を駆使し洗濯箱製作に取り組み、馴れた手つきでのこぎりを引き、釘を打つという作業で二人のコンビネーションも良く、時間の経つのも忘れ組み立てました。

泥まみれで土方さんになりきって土管を掘りあげてくれた信ちゃん、おっと忘れてはいけない人、影の功労者通称肩パットのM指導員も二人の共同作業の元に階段作りの下地が出来ていました。まったく二人のコンビネーションパワーには驚きました正直な感想です。その作業を静かに見守る総監督の武ちゃん、働き者の由美ちゃん、みんなの作業を応援していた俊ちゃん、スコップ片手に上手にデザインするみっちゃん、残念ながら作業に参加してないけどしっかり家に帰って体力をつけてくるはずの重ちゃんとチームワークもよくこれからも毎日作業頑張ります。(田之上)

2 班 - 山のギャング達

私達は、この間、体力作りということで、吉無田高原に草すべりに出かけました。ひろし君の出発進行のかけ声で出発しました私達15名はニコニコ笑顔です。いざ!いざ!草すべり!ひろし君は「先生とする」と恐々でしたが、そのうちに一人でもすべりました。英ちゃんは恐がってみました。もう一人のひろし君は上村さんと楽しくすべり、はじめ君は上目使いではずかしがりながらもニコニコすべりました。ふたみさんは楽しくてたまらず何度もキャッキョッと言ってすべり、民さんは恐がってブランコに乗りました。こうちゃんは完全主義者でとっぺん先からいちばん下の平地まで、すべらなくても足でこいでがんばりました。かずあき君はうんうんと言いながらも恐々ですべりました。修ちゃんは山へさっさと登り、頂上まで一位で行きました。哲ちゃんは足が長すぎて、なかなかうまくいきません。職員は職員で楽しくてたまらず、ギャーギャー言っていました。とってもとっても楽しい草すべりでした。皆草すべりより、おやつの方が良かったというのは内緒にしとこう!! (波多野)

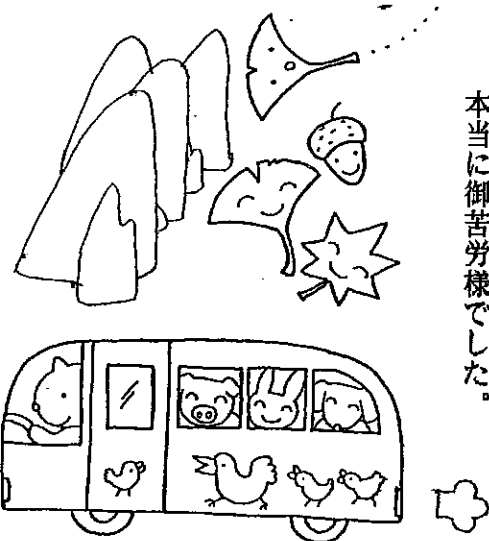
バスハイク

実行委員長・山中 美津代

朝、東の空の様子をうかがうと灰色の雲が阿蘇をかくし何とも言えぬ空模様。火山博物館にしようか、それともグリーンピア南阿蘇にしようか悩んだあげくの末、結局、グリーンピア南阿蘇へ出発。しかし、出発はしたものの、今にも雨が降りそうな雲行き、到着すると雨も元気な子供達の様子を見てか、何とか午前中の間は降らずにいてくれました。しかし、皆の大好きなお弁当になり、班ごとにシートも敷き「さー、腰をおろして食べよか」という頃になると待ってましたと言わんばかりに雨がポツポツと降り出しました。お弁当を目の前に食べられずがっかりです。あわてて近くの東屋へ駆け込み、そこでお弁当となりました。もうすこしの間降らずにいてくれたら良かったのですが。しかし、その雨もそこを出発する頃になると何とかやみ次の目的地テクノポリスセ

ンターへ出発しました。ここでは高度な技術のコンピュータや機械が並んでいて。皆、一周するとほとんどの子が、二階の休憩室で無人のピアノの伴奏をのんびりとソファーに座り聞いていました。帰りのバスの中では、皆、満足そうでした。

雨にたたられた一日ではありましたが、皆無事に楽しく過ごせたみたいで本当に良かったなと思いました。これもボランティア、その他の色々な方々のおかげで無事バスハイクも終わり、皆様のご協力に心から感謝しています。本当に御苦労様でした。



バスハイク

ボランティアさんありがとう

初めてのバスハイク、園生全員がそろって戸外へ飛び出すとあって、9月始めから一緒に行ってくれるボランティアさんを探し始めた。しかし、あちらこちらに文書を配って見たものの反応なし。電話でアタックしてみても「平日だから授業が…」との返事。困り果てているところへ実習で転がり込んで来た巨体のいえ、熊大のS君。ここぞとばかりに頼み込むと、なんと男子4名、女子5名熊大生が参加してくれることになった。

バスハイク前日、夕食前に来園したボランティアさんたち。不安気な表情も、夕食をとり、園生とのひとときを過ごすうちに消えていき、すぐに園生たちと仲良くなってくれた。

そして、いよいよバスハイクの日が来た。目をつり上がらせてバタバタと走り回る職員と対象的に穏やかなボランティアさん。厨房

の手伝いや園生たちの準備をさっさと済ませ、いざ出発。道中、突然の指名を受けて立ち、ご自慢のものを披露してくれたボランティアさんも……。そして、いよいよ目的地グリーンピア南阿蘇へ到着した。荷物を置いて、さあ遊ぶぞと園生と一緒に広場へ出たのはよかったですけれど、ブランコやすべり台で遊びまわる園生、ただ広場を駆け回る園生、荷物の見張り番をするボランティアさんの表情は、明るいもの、戸惑うもの、あせるものと同様々だった。しかし、「園生をそっちのけで楽しんでしまいました」というのが、ボランティアの皆さんの感想でした。(よかった)

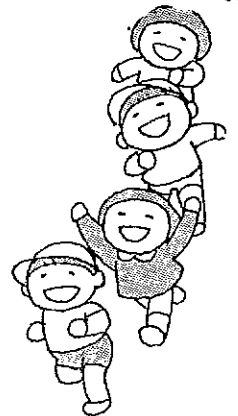
現地で楽しんで私達を陰で支えてくれたのは、何といってもお母さん方、62人分のおにぎり作り、園内の掃除、33人分の山程の洗濯物の処理と、早朝から夕方まで大奮闘。本当に御苦労様でした。

最後になりましたが、バスハイクの為に協力して下さいましたボラン



ティアさん、ありがとうございます。また機会がありましたら、ぜひ遊びに来てください。

(平川)



バスハイク 珍道中

夏祭りのレクリエーションに続きバスハイクもレクの担当になってしまった私・高橋と波多野のうるさいペア。緊張してバスに乗り込み発車オーライ。しばらく走り、皆の緊張をときほぐそうと手遊び歌を始めてみたものの、窓の外を見たり、耳ふさぎをしたりと車内一面シラツとした雰囲気につつまれています。これでもか、これでもかと手遊び歌をやってみるが、シラケムードは広がる一方、「先生とお友達」や「ドングリころころ」も歌ってみましたが、全くダメ、困った時のカラオケだのみとばかりにカラオケを使おうとすると、園に忘れてきていた！しかしバスにはレーザーディスクついてた。やったーと思ったが、ガイドさんが使い方を知らなくてまたまたシラケてきた。あーあ、大失敗、と思ったとたんグリーンピア南阿蘇に到着。やっと終わったと思っただけ、私たち！？それとも園生！？

(高橋)



12・1月行事予定

- | | |
|--|---|
| <p>12月2日(水) 体重測定・シート交換
 3日(木) 1班・レクリエーション
 7日(月) 12月誕生会
 10日(木) 2班・レクリエーション
 動作訓練研究会・午後7時～
 12日(土) 保護者会・帰宅訓練日
 職員会議
 ボランティア学習会
 15日(火) 防災非難訓練
 17日(木) 3・4班・レクリエーション
 24日(木) クリスマス会</p> | <p>26日(土)～29日(火) 帰宅週間
 28日(月) 大掃除
 29日(火) 職員会議
 30日(水)
 ～1月8日(金)全員・冬季帰宅日
 1月9日(土)～11日(月) 帰園週間
 16日(土) 保護者会・帰宅訓練日
 職員会議
 ボランティア学習会</p> |
|--|---|



冬季・帰宅訓練日について

冬季帰宅は帰宅開始期間が12月26日(土)～29日(火)3時までをお願いします。また帰園期間は1月9日(土)朝9時～11日(月)までをお願いいたします。尚、12月30日(水)～1月8日(金)の冬季帰宅訓練期間、年末・年始は無人となります。それ以外の日は当直の職員以外出勤しておりませんので緊急の場合は緊急連絡網をご覧ください。

ご不明の点は担当職員にお尋ね下さい。

— お願い —

ご家庭でのご不用の物がございましたら、ご寄付下さるようお願いいたします。

割れないコップ・座布団・布団
 台拭き用タオル・足拭きマット
 長靴・コタツ・コタツ布団
 軍手・バケツ・コンテナ・ナベ

編集後記

秋ですねぇ!! 山の木々は色づき、落ち葉で焼き芋!! いいですネエ
 食欲の秋のおかげで、編集後記を書いている私はスカートのボタンをはずしちゃっております。あっはずかしい!! これは私だけの現象ではなく、皆様にも言えることではありませんか?

今回のたんぼぼだよりは、バスハイク特集でしたがいかがでしたでしょうか。ご意見、ご感想をお寄せください。

たんぼぼだより編集室では、原稿を募集しています。皆様のお話を聞かせて下さい。よろしくお願ひいたします。

(波多野)